

鳥類

大分県下では375種、その内大分市では313種の鳥が記録されています。佐賀関(さかのせき)半島では春と秋にはタカの渡(わた)りなどにも見

ます。自然が豊かなので、川では水辺の鳥、木々の多いところでは山野の鳥に出会うことができます。ですが、海辺の干潟(ひがた)が減少しているため、シギ・チドリ類の数は少ないです。

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

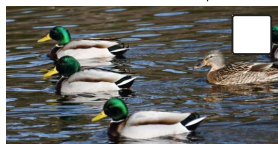
絶滅のおそれのある地域個体群 LP

1 コハクチョウ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:10月~3月
体長:120cm



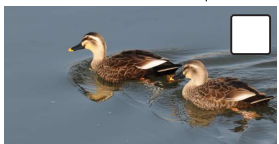
迷鳥(めいちょう)として内陸部に飛来しますが数は少ないです。全身が白色ですが、頭から頸(くび)は黄(おう)かつ色に染まっているものが多いです。幼鳥は全体が灰白色で、じょじょに白くなっていきます。

2 マガモ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:10月~3月
体長:59cm



冬鳥として渡来(とらい)します。オスは頭から頸にかけて光沢のある緑色で白い首輪(くびわ)があります。くちばしは黄色です。メスは全体が黒い斑点(はんてん)のかつ色でくちばしはオレンジ色です。

3 カルガモ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:通年
体長:60.5cm



カモ類の中で唯一雌雄(しゆう)同色です。河川などで繁殖(はんしょく)します。体は濃(こ)いかつ色で、頭から頭部(かぶ)は白っぽく、頭と過眼線(かまゆ)は黒かつ色、くちばしは黒く先端は黄色で足はだいたい白色です。

4 ハシビロガモ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:10月~3月
体長:50cm



冬鳥として渡来しますが、数は少ないです。くちばしが平たく大きく、エサをとるときに役立っています。オスはわきの茶色と白のコントラストがよく目立ちます。

5 コガモ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:10月~3月
体長:37.5cm



冬鳥として渡来します。カモ類の中で一番小さいです。オスの頭部は濃い茶色で目の周りから後部にかけて濃い緑色、おしりは黄色。メスは全身黒つぼい茶かつ色です。

6 カラスバト 【生息場所】海岸に近い林島
よくみられる時期:通年
体長:40cm



全身が黒で、頸や背(せ)には赤紫や緑の光沢があります。暗い広葉樹(こうようじゆ)を好み、目の周りから後部にかけて濃い緑色、おしりは黄色。鳴き声に持ちようがあるので、近くにいることが分かります。国指定天然記念物。

7 ダイサギ 【生息場所】川 田んぼ
よくみられる時期:通年
体長:90cm



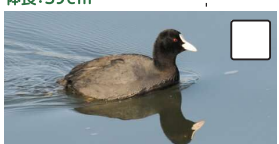
雌雄同色。白いサギの中では最大です。頸は細くて長いです。くちばしは夏羽では黒く、冬羽では黄色くなります。足は黒いですが繁殖期には赤味を帯びます。

8 クロサギ 【生息場所】海岸
よくみられる時期:通年
体長:62.5cm



雌雄同色。黒色型と白色型がありますが大分では黒色型のみです。全体がすすけた黒色で、くちばしと足の色は淡黄(たんおう)色から黒色まで、変異(へんい)が多いです。

9 オオバン 【生息場所】川
よくみられる時期:通年
体長:39cm



雌雄同色。以前は冬鳥として渡来していましたが、現在は生息地を拡大して、多数見られるようになりました。全身が黒く、くちばし・額が白いです。潜水(せんすい)してエサを食べます。

10 ウミネコ 【生息場所】海岸
よくみられる時期:通年
体長:45cm



雌雄同色。カモメ類では中型です。足は黄色で、くちばしの先端(せんたん)部には赤と黒の斑点があります。高島(たかしま)では集団繁殖地として保護(ほご)されています。

11 ミサゴ 【生息場所】川 海岸
よくみられる時期:通年
体長:♂54cm、♀64cm



雌雄ほぼ同色。腹や頭の白が目立ちます。水面でホバリングし、水に飛びこんで魚をとります。営巣(えいそう)は海岸の岩礁(がんしょう)や内陸のがけ、大木で行います。

12 サシバ 【生息場所】里
よくみられる時期:4月~10月
体長:49cm



夏鳥として渡来し、繁殖します。上面はかつ色、下面は白地に茶かつ色の黄斑(おうはん)があり、渡り時期には関崎(せきさき)などで観察できます。

13 クマタカ 【生息場所】山
よくみられる時期:通年
体長:♂72cm、♀80cm



雌雄同色。イヌワシに次ぐ大型のタカです。下面は細かい黄斑があり、つばさのほばが広いです。とまっているときにむねは白くみえます。上空をゆっくり飛びエサをさがします。

14 アオバズク 【生息場所】街中 里
よくみられる時期:4月~9月
体長:27~30.5cm



雌雄同色。夏鳥として渡来し、寺社林などの樹洞(じゆうどう)で繁殖します。頭から背はこげ茶色で、胸には黄斑があります。夜は活発に飛び回り、甲虫類や蛾(が)をとります。

15 カワセミ 【生息場所】川・池
よくみられる時期:通年
体長等:17cm



頭から尾(お)まで上面は金属光沢のある青緑色で、背はコバルト色。オスはくちばしが黒く、メスは下くちばしが赤いです。ホバリングしたり、枝などにとまり、水中の小魚をとります。

16 ハヤブサ 【生息場所】里 公園
よくみられる時期:通年
体長:♂38cm、♀51cm



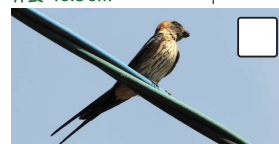
雌雄ほぼ同色。飛んでいるとき少しずんぐり見え、つばさの先がとがっています。顔には黒い頬髭(ほおひげ)があるように見えます。上面は灰色、下面は細く黒色黄斑があります。

17 亜種サンショウクイ 【生息場所】里・山
よくみられる時期:通年
体長:20cm



夏鳥の亜種(あしゆ)サンショウクイは数が少ないです。雌雄同色で、大分ではおもに(亜種)リュウキュウサンショウクイが見られます。飛びながらの鳴き声が特徴で、名前の由来でもあります。

18 コシアカツバメ 【生息場所】街中 里
よくみられる時期:4月~9月
体長:18.5cm



夏鳥として渡来し、繁殖します。たて半分にしたトックリをかりつけたような巣が特徴です。雌雄同色で、頭から背は光沢のあるこん色で、腰(こし)の赤っぽい茶色が目立ちます。

19 メジロ 【生息場所】公園 山
よくみられる時期:通年
体長:14cm



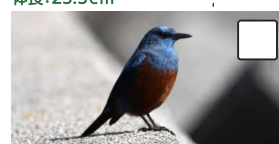
雌雄同色。ほぼ全身がいわゆる鶯(う)ぐいす)色。目のまわりにはその名の通り白いアイリングがあります。大分県の県鳥です。

20 キセキレイ 【生息場所】里・沢
よくみられる時期:通年
体長:20cm



雌雄ほぼ同色。頭から背は青灰色でつばさは黒く、白い眉斑(びはん)があります。腹(はら)は白っぽい黄色。河原の石で尾を上下に振るすがたで、「インダタキ」とも呼ばれます。

21 イソヒヨドリ 【生息場所】街中 海岸
よくみられる時期:通年
体長:25.5cm



オスは頭からむね、背にかけて明るい青色。腹は赤茶色で、雨覆(あまおおい)と風切りは黒いです。メスは地味なかつ色で、むねから腹にかけてウロコ目があります。内陸部でも見られます。

22 オオルリ 【生息場所】山
よくみられる時期:4月~10月
体長:16.5cm



日本の三鳴鳥。夏鳥として渡来し、繁殖します。オスの上面は瑠璃(るり)色で頭頂(とうちよう)はきれいな水色で、顔からノド、むねは黒く、腹は白いです。メスは全体がオリブかつ色です。

23 ウソ 【生息場所】公園 山
よくみられる時期:10月~3月
体長:15.5cm



冬鳥として渡来します。オスは全身灰色。頭、つばさの先、尾が黒色、ほほからノドが紅色です。メスは紅(べに)色がなく茶色味があります。鳴き声が口笛(くひす)に似ていて、桜のつぼみを食べます。

24 アオサギ 【生息場所】川 海岸
よくみられる時期:通年
体長:93cm



雌雄同色。大きくて全体的に灰色に見えます。海岸や大きな河川に多いですが、水田などでも見られ、魚類やカエルなどを食べます。警戒(けい)しい心は強く、「ゴワツ」などと鳴きます。